

## 2020 年度 マスク累計販売枚数 No.1<sup>※1</sup>を達成

アイリスオーヤマ株式会社（本社：仙台市、代表取締役社長 大山 晃弘）は、株式会社インテージ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 檜垣 歩）が調査した日本国内のマスク市場において、累計販売枚数が No.1<sup>※1</sup>を達成したことをお知らせいたします。

当社は 2007 年よりマスク市場に参入し、大連工場（中国・遼寧省）にてマスクの生産を開始しました。その後、2013 年に蘇州工場（中国・江蘇省）でのマスクの生産を開始し、日本に加えて、中国国内へのマスクの供給を強化してきました。

2020 年、世界的な新型コロナウイルスの感染症問題の長期化に伴い、マスクの入手が困難な状況が続いたことから、宮城県角田工場の一部を改修してマスクの生産を開始し、中国 1 カ国に依存していた生産体制を分散し、日本国内へのマスクの安定供給の体制を構築しました。また、アメリカ（ウィスコンシン工場）、韓国（仁川工場）、フランス（フランス工場）を生産拠点に加えたことで、段階的に生産量を拡大し、2020 年度総生産数約 26 億枚<sup>※2</sup>を実現しました。

今後も、アイリスグループの総合力を活かし、新型コロナウイルスの感染拡大防止を支援してまいります。

### <角田工場（宮城県）のマスク生産の様子>



※1 インテージ SRI+マスク市場 2020 年 1 月～2020 年 12 月度 累計販売容量（枚数）。

※2 6 工場（大連、蘇州、角田、ウィスコンシン、仁川、フランス）の合算。アイリスオーヤマ調べ。